

まもなく酷暑がやってきますが皆様準備は出来ていますか？毎年同じこと話してる気がしますが今年は過去最高に暑くなるみたいです。いざ猛暑が来てから慌てないよう今からできる準備を『体』『家電・住まい』『グッズ』の3つに分けて紹介します。



① 身体の準備:暑さに強い身体を作る(暑熱順化)

急な暑さで熱中症にならないよう、今から体を暑さに慣れさせる(暑熱順化)ことが最優先です。

汗をうまくかける体を作りましょう。

- ・軽い運動をする:1回30分程度のウォーキングやジョギング
- ・入浴は湯船につかる:シャワーで済ませず、ぬるま湯のお湯にじっくり浸かって汗をかく練習をする
- ・冷房に頼り過ぎない:朝晩は窓を開け、換気扇や扇風機を活用して外の気温に体を合わせます。

② 家電・住まいの準備:冷房効率を最大化する

真夏にエアコンが故障すると修理の順番待ちに数週間を要することになります。今のうちに動作を確認しましょう。

- ・エアコンの試運転:10~20分程度最低温度で運転し、冷風がでるか、異音や異臭がないか確認します
- ・フィルターの掃除:溜まったほこりを取り除くと、冷房効率が上がり電気代の節約に直結します
- ・室外機周辺の整理:室外機の周りに物を置くと熱が逃げず冷えにくくなります
- ・日よけの設置:室内への直射日光をすだれや遮光カーテンで防ぎます(遮熱フィルムとかもあるよ)

③ 猛暑が始まると人気の商品は一瞬で売り切れます。今のうちにゲットしましょう。

- ・外出用アイテム:日傘、帽子、ハンディファン、ネッククーラー
- ・快眠グッズ:冷感シーツ、冷感まくら、アイスノン
- ・スポーツドリンク:経口補水液やスポーツドリンク、塩飴などを防災備蓄も兼ねて多めにストック



などが夏本番のいまできる準備かと思います。準備は大事。何か起こってからでは後悔しても遅いです。

先日プロ野球の審判の頭部にバットが当たるとい事故がありました。

その事故以降、審判の安全を配慮しヘルメットを着用し試合を裁定するようになりました。

ただ当事者の審判の方はまだ意識が戻らず入院中です。障害などが残らなければいいのですが…

(ちなみにこの審判の方は事故に遭ったその試合が審判デビューの日でした)

何かあってから動くのが日本の常です。

そうならないように早めに準備をしてみたいはいかがでしょうか？

(株)オネスト 天野 勝一

【社内業務連絡】

2026年5月 入社者3名・退職者1名でした

7月より東大阪市新喜多のマンションにて新規受注物件もスタート！（←求人開始されました！早い者勝ち！）

右のQRコードに最新の求人情報が載っています。覗いてみてください👁️🎵



研修会欠席者の課題提出について（対象者11名）

今年度の研修会に残念ながら参加できない11名の方は研修会と同内容の課題・チェックシートを同封しております。

同封されている方は記入し、7/4までに原本を郵送にて提出してください。課題回答を導くヒントは同封の資料・虎の巻にあります。更なるヒントが欲しい方は社員へご連絡ください。研修会参加の同僚へ聞くのもOK！

緊急連絡先等のシートも同封されている方は訂正箇所がないか確認し再提出してください。

訂正箇所がある場合は赤ペンにて修正箇所を加筆し提出するようにしてください。

いよいよ今月末は研修会です 9:00 開場・9:30 開始となります。5分前にはお越しください。

例年と会場が変わりますのでお間違えのないよう、また忘れ物もないようにくれぐれも足元に注意してお越しください。

持ち物は**虎の巻・筆記用具・現場鍵（自宅持ち帰り分のみ）・認印（雇用契約更新者のみ）**

今年は月末の開催となるため欠席者の方が先の課題を手にするようになります。

参加者の皆様は研修会の当日、半分答えのような説明を聞きながら仕上げていただきますので、後日不参加の方から質問を受けたときはぜひ教えてあげてください。

この課題は**一定水準以上の回答率でない場合、再テストもしくは個人指導の対象となります**のでしっかりと取り組むようにしてください。研修会・課題のクリアにより【弊社はしっかりとした研修・教育を行い、高品質高水準の清掃会社です】との報告を管轄の保健所へ提出しています。これには在籍者全員の確かな研修・教育の事実が必要となりますので未提出者は毎年ゼロです。本年も積極的なご協力をお願いいたします。

某元請会社様より鍵カードの紛失が発生し下記の通達がきていますので連携させていただきます。

本件は6/10の19:00に紛失が発覚したが元請会社様への報告が翌日6/11の14:30頃になっている点も大きな問題となっています。このような際には迅速な報告を必ずお願いいたします。

鍵・カード管理 最低限守っていただきたい弊社のルール

1. まず「落とさない」こと！このルールを軽視したとき紛失は必ず起こる！

① 業務中 落とさないための保持ルール

- ・カードはストラップ（首掛け）、胸ポケット収納
- ・鍵は落下防止コード（ベルトに固定）、ポケット（又は腰BOX）へ収納。
- ・ストラップやコードなし携帯・手持ち携帯・置き置きは禁止
- ・使用後は「鍵ボックスに返却する」までを作業とする。



② 使用しない時間の取扱いルール

- ・使用予定がない場合は、速やかに鍵ボックスへ返却する。
- ・「あとで使うかもしれない」で持ち続けず。
- ・不要な携帯時間を減らすことで、紛失リスクは下がる。



③ 持ち帰り時 落とさないための保持ルール

- ・鞆に固定（結束する・くくる・結わえる）。
- ・鞆の奥まで仕舞う。蓋やファスナーを閉める。
- ・財布に入れない。
- ・移動中に出し入れしない。
- ・帰宅時・出社時に所在確認を行う。



🚨 鍵紛失事故発生！！ 🚨

2. 授受簿に記帳すること！記帳がない時点で、紛失はもう始まっている！

● 授受の際のルール

- ・ 鍵・カードの授受時は、必ず授受簿へ記載する。
授受簿は、「誰がいつどの鍵を持ったか 又は 返却したか」を明確にする大切なツール。
（万一の紛失時、早期発見・範囲特定の重要な手がかりとなる。）
- ・ 返却の際は、管理者への「手渡し」が原則。



3. ルール遵守は「会社」と「従業員」を守るための最後の砦

● 想像を超える「紛失のリスク」を直視しよう

- ・ 多額の復旧費用
1本または1枚の紛失が「全室の鍵交換」や「全社員のカード再発行」に繋がり、数百万円単位の損害を招く可能性。
- ・ 信頼の崩壊
鍵・カード紛失の事実は、取引先から見れば「管理能力の欠如」を意味し、契約解除や取引停止に直結する。

